



〈2006 年春季〉

すまい・まちづくりフォーラム関西21

第 18 回

地域性・公共性・集住デザイン

—都市居住の新しい可能性を拓く—

生活基盤である住まいのあり方、またその集合体であるまちのあり方は、人々の暮らしの質を左右し、ひいては、地域社会の持続可能性に大きな影響を及ぼすと考えられます。人口減少、少子高齢化、世帯規模の縮小など、住まいをめぐる諸条件は大きく変化し、住まいの供給を方向づける計画制度や公共の役割も見直されていますが、そこで問われているのは、成熟都市社会にふさわしい住まい、まちのあり方です。そして、それを具現化する集住デザインが求められています。

本フォーラムでは、竹原義二氏、江川直樹氏という、お二人の著名な建築家をお招きし、住まいとその集合体であるまちを創るという視点から、成熟都市社会が備えるべき公共性やその担保の仕方、また、都市居住の新しい可能性を拓く集住のデザインについて、議論したいと思います。お二人が地域性や公共性をどのように捉え、デザインへと結び付けて

おられるのか、また、現状にはどのような問題点や課題があるとお考えなのか、たいへん楽しみです。会員のみなさまや学生、市民の方々など、多数のご参加をお待ちしています。

■ 2006 年 6 月 10 日 (土)

午後 1 時 30 分～4 時 30 分 (受付開始 1 時)

コーディネーター

檜谷 美恵子 大阪市立大学助教授

パネリスト

竹原 義二 大阪市立大学教授

江川 直樹 関西大学教授

／現代計画研究所・大阪代表

■会 場 梅田スカイビル ウエスト 22 階
大阪市北区大淀中 1-1-88■交 通 JR 大阪駅中央北口から徒歩 10 分
参加費 一般 1000 円、文庫会員・学生 500 円
(資料代含む)

詳しくは、文庫ホームページで

も く じ

2006 年春季フォーラム案内	1
トピックス・日本の違法建築	増淵昌利 2-4
マイ・ワーク/マイ・スタディ	阪倉嘉一 5
2005 年 秋 フォーラムの記録: 時空を読むアーバンデザイン	6
西山先生と私	安達 英俊 12-13
西山卯三写真アーカイブス	松本 滋 14
会員だより	宇高雄志 15
文庫よりのお知らせ	16

〈予告〉 夏の学校 2006 in 尾道

” 坂と港と横町のまち

—尾道の魅力を探る—”

期日 8 月下旬から 9 月下旬で調整中

会場 広島県尾道市

対象 建築・住居・都市計画・まちづくりな
どに関心がある学生・大学院生など

募集人数 約 80 名

費用 2 万円 (予定、2 泊・3 食込み)

・受付開始は 7 月 1 日から。

・詳細は次号にて。